

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS C740

BIOS セットアップメニュー一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel vProは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
メイン (→P.3)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。また、日時や言語を設定します。
詳細 (→P.4)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.9)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.11)	停電復旧時の動作や、Wake up on LAN機能などを設定します。
IPMI管理 (→P.12)	iRMC（リモートマネージメントコントローラ）に関する設定を行います。
起動 (→P.14)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.15)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目
メイン	言語 (Language)
	システム日付
	システム時刻
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定
起動	起動時のNumLock設定
	起動時のロゴ表示
終了	変更を保存して終了する
	変更を保存せずに終了する
	変更を保存して終了する（再起動）
	変更を保存せずに終了する（再起動）
	保存設定
	変更を保存する
	変更を保存しない
ユーザー設定値を保存する	
ユーザー設定値を読み込む	

メインメニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
BIOS情報	
BIOSベンダー	
カスタマイズ	
コア版数	
コンプライアンス	
システム情報	
システムボードおよびファームウェア	
BIOS版数	
BIOS日付	
Board GS	
型名	
UUID	
LANデバイス	
LAN 1 MAC Address	
LAN 2 MAC Address	
CPU詳細	
CPU名	
マイクロコード版数	
CPU速度	
キャッシュ容量	
CPUコア数	
スレッド数	
メモリ詳細	
メモリ容量／周波数	1MB=1024 ² バイト換算
Open Source Software Licence Information	

選択肢 初期値

設定項目	備考
言語 (Language) <input type="checkbox"/> English <input checked="" type="checkbox"/> 日本語	
システム日付 01/01/1998～12/31/2099	<ul style="list-style-type: none"> 【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 Windows 10では、OSが自動的に変更する場合があります。
システム時刻 00:00:00～23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動
アクセスレベル	BIOSセットアップを管理者用パスワードで起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は「ユーザー」と表示される

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
オンボードデバイス設定	
LAN 1 □使用しない ■使用する	
LAN 2 □使用しない ■使用する	
iRMC LANとの共有 ■共有 □iRMC専用	
拡張スロット状態	
拡張スロット1 □使用する □故障 □未搭載	拡張カードが搭載されている場合、「使用する」が選択される
拡張スロット2 □使用する □故障 □未搭載	拡張カードが搭載されている場合、「使用する」が選択される
拡張スロット3 □使用する □故障 □未搭載	拡張カードが搭載されている場合、「使用する」が選択される
拡張スロット4 □使用する □故障 □未搭載	拡張カードが搭載されている場合、「使用する」が選択される
PCI Subsystem設定	
PERR設定 ■使用しない □使用する	※注1
SERR設定 ■使用しない □使用する	※注1
PCI Express Link設定	
ASPM Support ■使用しない □L1 Only	※注1
4GB以上のアドレス空間への デコード □使用しない ■使用する	※注1
DMI設定 □GEN 1 ■GEN 2	
MMCFG BASE ■2GB □3GB	※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
CPU設定	
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時に設定可能
アクティブコア 初期値: 0	すべてのコアで初期値「0」
Limit CPUID Maximum ■使用しない □使用する	
Hardware Prefetcher ■使用する □使用しない	※注1
Adjacent Cache Line Prefetch ■使用する □使用しない	※注1
DCU Streamer Prefetcher ■使用する □使用しない	※注1
DCU Ip Prefetcher ■使用する □使用しない	※注1
Intel Virtualization Technology □使用しない ■使用する	※注2
VT-d ■使用する □使用しない	※注2
TXT設定 ■使用しない □使用する	※注2
Power Technology □使用しない ■Energy Efficient □カスタム	※注1
HWPM Support ■使用しない □HWPM NATIVE MODE □HWPM OOB Mode	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「Power Technology」が「カスタム」 ※注1
Enhanced SpeedStep □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「Power Technology」が「カスタム」 •「HWPM Support」が「使用しない」 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Turbo Mode □使用しない ■使用する	対応CPU搭載で、下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「Power Technology」が「カスタム」 ◆「HWPM Support」が「使用しない」 ◆「Enhanced SpeedStep」が「使用する」 ※注1
Override OS Energy Performance ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「Power Technology」が「カスタム」 ◆「HWPM Support」が「使用しない」または「HWPM NATIVE MODE」 ※注1
Energy Performance □Performance ■Balanced Performance □Balanced Energy □Energy Efficient	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「Power Technology」が「カスタム」 ◆「Override OS Energy Performance」が「使用する」 ※注1
CPU C1E Support □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「Power Technology」が「カスタム」 ※注1
Autonomous C-state Support ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「Power Technology」が「カスタム」 ※注1
CPU C3 Report ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「Power Technology」が「カスタム」 ◆「Autonomous C-state Support」が「使用しない」 ※注1
CPU C6 Report □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「Power Technology」が「カスタム」 ◆「Autonomous C-state Support」が「使用しない」 ※注1
Package C State limit □C0 □C2 □C6 ■C6(Retention)	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 <ul style="list-style-type: none"> ◆「Power Technology」が「カスタム」 ※注1
QPI Link周波数 □6.4 GT/s □8.0 GT/s □9.6 GT/s ■自動	※注1
Uncore Frequency Override ■使用しない □Maximum □Nominal	※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ランタイムエラー記録設定	
ECCメモリエラー記録 □使用する ■訂正不可能なエラーのみ □使用しない	※注1
PCIエラー記録 ■使用しない □使用する	※注1
メモリ状態	
DIMM-1A □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合、「使用する」が選択される
DIMM-2A □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合、「使用する」が選択される
DIMM-1B □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合、「使用する」が選択される
DIMM-2B □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合、「使用する」が選択される
DIMM-1C □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合、「使用する」が選択される
DIMM-2C □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合、「使用する」が選択される
DIMM-1D □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合、「使用する」が選択される
DIMM-2D □使用する □使用しない □故障 □未搭載	メモリが搭載されている場合、「使用する」が選択される

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
メモリ設定	
NUMA □使用しない ■使用する	
DDR Performance ■Performance optimized □Energy optimized	※注1
SATA設定	
SATAコントローラ設定	
SATAコントローラ □使用しない ■使用する	※注1
SATA Mode □IDE Mode ■AHCI Mode □RAID Mode	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 ※注1
Aggressive Link Power Management □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
sSATAコントローラ設定	
sSATAコントローラ ■使用する □使用しない	※注1
sSATA Mode □IDE Mode ■AHCI Mode □RAID Mode	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「sSATAコントローラ」が「使用する」 ※注1
Aggressive Link Power Management □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「sSATAコントローラ」が「使用する」 •「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SATA Port 4	
Port 4 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
External SATA Port ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
SATA Port 5	
Port 5 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
External SATA Port ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「SATAコントローラ」が「使用する」 •「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Acoustic Management設定	※注1
互換性サポートモジュール設定	
互換性サポートモジュール □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュアブート機能」が「使用しない」
ネットワークからの起動 □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュアブート機能」が「使用しない」
起動時のストレージ用オプションROM □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュアブート機能」が「使用しない」
起動時のビデオ用オプションROM □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュアブート機能」が「使用しない」
起動時のその他のオプションROM □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュアブート機能」が「使用しない」
TPM（セキュリティチップ）設定	
TPM（セキュリティチップ）設定	
セキュリティチップ □無効にする ■有効にする	
TPM状態の変更内容 ■変更しない □クリアする	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュリティチップ」が「有効にする」 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「セキュリティチップの設定を変更する」を参照
ハッシュポリシー □SHA-1 ■SHA-2	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「セキュリティチップ」が「有効にする」 ※注3 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「セキュリティチップの設定を変更する」を参照
現在のTPMの状態	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USB設定	
USB設定	
xHCI モード □Smart Auto ■自動 □使用する □使用しない	本設定を「使用しない」に設定すると、USB3.0ポートはUSB2.0ポートとして機能する
USB レガシーサポート ■使用する □使用しない □自動	
マスストレージデバイス ■自動 □Floppy □Force FDD □Hard Disk □CD-ROM	接続された各USBデバイスごとに設定可能
USBポートセキュリティ	
USBポート設定 ■全て有効 □全て無効 □前面と内部のみ有効 □背面と内部のみ有効 □内部のみ有効 □使用中ポートのみ有効	
USBデバイス設定 ■全てのデバイス □キーボード/マウスのみ □ストレージとHub以外	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「USBポート設定」が「前面と内部のみ有効」 または「背面と内部のみ有効」 または「使用中ポートのみ有効」
シリアル/パラレルポート設定	
Super IO Chip	
シリアルポート1設定	
シリアルポート ■使用しない □使用する	
デバイス設定	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「シリアルポート」が「使用する」

選択肢 ■初期値

設定項目	備考
I/Oアドレスと割り込み ■自動 <input type="checkbox"/> I0=3F8h; IRQ4; <input type="checkbox"/> I0=3F8h;IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; <input type="checkbox"/> I0=2F8h;IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; <input type="checkbox"/> I0=3E8h;IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; <input type="checkbox"/> I0=2E8h;IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12;	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「シリアルポート」が「使用する」
ネットワークスタック	
ネットワークスタック <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	ご購入時は、Windows 10の場合「使用する」、 Windows 7の場合「使用しない」に設定 「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定される
IPV4環境での起動 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「ネットワークスタック」が「使用する」
IPV6環境での起動 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「ネットワークスタック」が「使用する」
オプションROM設定	
拡張スロット1のオプションROM <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
拡張スロット2のオプションROM <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
拡張スロット3のオプションROM <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
Intel(R) Ethernet Connection I217-LM	オンボードLAN1デバイスのオプションROMに関する サブメニュー ※注1
Intel(R) I210 Gigabit Network Connection	オンボードLAN2デバイスのオプションROMに関する サブメニュー ※注1
UEFI ドライバの状態	

注1：本設定は初期値のまま変更せずに使いください。

注2：本ワークステーションにこの機能の動作が確認されたソフトウェアを搭載していない場合は、
「使用しない」に設定してください。「使用する」に設定した場合の動作保証はできません。

注3：本設定を変更すると、セキュリティチップで保護されたデータなどは利用できなくなります。
本設定を変更する前に保護を解除してください。

セキュリティメニュー

選択肢 ■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード設定	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
WOL時のパスワードスキップ ■使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	<ul style="list-style-type: none"> 使用しない…WoL機能での起動時に、パスワード入力を求める 使用する…WoL機能での起動時に、パスワード入力を求めない 「ユーザー用パスワード」を設定した場合に設定可能 設定は内蔵LANデバイスに対してのみ有効 <p>※注1</p>
フラッシュメモリへの書き込み <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	
起動時のパスワード入力 ■毎回 <input type="checkbox"/> 使用しない	<ul style="list-style-type: none"> 毎回…本ワークステーション起動時に、パスワード入力を求める 使用しない…本ワークステーション起動時に、パスワード入力を求めない 「ユーザー用パスワード」を設定した場合に設定可能 <p>⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照</p>
起動時のHDDパスワード入力 <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない	<ul style="list-style-type: none"> 使用する…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力を求める 使用しない…本ワークステーション起動時に、ハードディスクパスワード入力を求めない 再起動時は、本設定に関係なくパスワード入力の要求はなし <p>⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照</p>
(ハードディスクドライブ名)	ハードディスクセキュリティに対応したハードディスク搭載時に表示 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ハードディスクセキュリティ設定	
Security Supported	設定状況を表示
Security Enabled	設定状況を表示
Security Locked	設定状況を表示

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Security Frozen	設定状況を表示
ユーザーパスワードの状態	設定状況を表示
マスターパスワードの状態	設定状況を表示
ユーザーパスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定可能。再起動後は表示されない
セキュアブート設定	
署名情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザー モード）」が表示される
セキュアブート	<ul style="list-style-type: none"> ・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時は「使用する」、「使用しない」時は「使用しない」と表示される
Vendor Keys	
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ご購入時は、Windows 10の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定 ・「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定される <p>※注2 ※注3</p>
署名情報設定 ■標準 □カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 □使用しない ■使用する	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
署名情報の初期化	<p>下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」 ・「署名情報の初期化」が「使用する」
署名情報の削除	<p>下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」 ・「署名情報の初期化」が「使用しない」
キーの保存	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Platform Key	
Set New Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Key Exchange Key	
Set New Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures	
Set New Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Forbidden Signatures	
Set New Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized SignaturesTimeStamps	
Set New Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	<p>下記の項目が次のように設定されているときに設定可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「署名情報設定」が「カスタム」

- 注1：WoL時にハードディスクパスワードの入力をスキップすることはできません。
- 注2：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 10（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。
- 注3：Windows 10のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 10を起動します。
- 2 タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

電源管理メニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
電源管理設定	
電源オン設定 <input checked="" type="checkbox"/> BIOS制御 <input type="checkbox"/> ACPI制御	
S4時の電源管理 <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	※注1
電源オフ時のUSB電源供給 <input checked="" type="checkbox"/> 電源OFF <input type="checkbox"/> 電源ON	※注1
ウェイクアップ設定	
LAN <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	・内蔵LANデバイスおよび拡張LANカードに対して有効 ・設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「Wakeup on LANを有効にする」を参照
LANによるウェイクアップ後の起動 <input checked="" type="checkbox"/> 起動順位に従う <input type="checkbox"/> ネットワークから起動する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「LAN」が「使用する」
時 0～23	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「時刻」が「使用する」
分 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「時刻」が「使用する」
秒 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「時刻」が「使用する」
モード <input type="checkbox"/> 毎週 <input checked="" type="checkbox"/> 毎日 <input type="checkbox"/> 毎月	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「時刻」が「使用する」
日曜日 <input type="checkbox"/> 使用する <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「時刻」が「使用する」 •「モード」が「毎週」

選択肢 ■初期値

設定項目	備考
月曜日 <input type="checkbox"/> 使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
火曜日 <input type="checkbox"/> 使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
水曜日 <input type="checkbox"/> 使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
木曜日 <input type="checkbox"/> 使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
金曜日 <input type="checkbox"/> 使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
土曜日 <input type="checkbox"/> 使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎週」
日 1~31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「時刻」が「使用する」 ◆「モード」が「毎月」
USBキーボード ■使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「電源オフ時のUSB電源供給」が「電源ON」 ※注1

注1：本設定は初期値のまま変更せずに使いください。

注2：Windows 10の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注3：省電力状態（休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。Windowsのデバイスマネージャーでの設定が必要です。

注4：省電力状態（休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。Windowsのタスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

IPMI管理メニュー

選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ファームウェア版数	
SDRR版数	
Asset Tag	※注1
内蔵ビデオ <input type="checkbox"/> 使用しない ■使用する	内蔵ビデオ機能は未サポート
OS起動リトライ回数 初期値：3	0~7
電源投入経過時間 初期値：7	・0~15 ・単位：秒
ASR&Rにより起動経過時間 初期値：2	・0~30 ・単位：分
温度監視 ■使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	
イベントログフル ■上書きする <input type="checkbox"/> 上書きしない	
AC通電再開時の動作 <input type="checkbox"/> 電源OFF ■自動 <input type="checkbox"/> 電源ON	・設定変更是再起動後に有効 ・自動…電源断発生時の状態による 起動中、休止状態は「電源ON」 シャットダウンは「電源OFF」 ※注2
シリアルポート ■システム <input type="checkbox"/> iRMC	※注1
Boot Watchdog <input type="checkbox"/> 使用する ■使用しない	BootWatchdog機能は未サポート
タイムアウト時間 1~100	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Boot Watchdog」が「使用する」 ・単位：分
動作 ■継続 <input type="checkbox"/> 変更を保存せずに再起動する <input type="checkbox"/> 電源切断・投入	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Boot Watchdog」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
iRMC LAN設定	
iRMC LAN □使用しない ■使用する	
iRMC MACAddress	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「iRMC LAN」が「使用する」
iRMC LAN速度 ■自動 □100 Mbit/s Full Duplex □100 Mbit/s Half Duplex □10 Mbit/s Full Duplex □10 Mbit/s Half Duplex □1000 Mbit/s	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「iRMC LAN」が「使用する」
iRMC VLAN ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・iRMCのVLAN機能は未サポート ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「iRMC LAN」が「使用する」
VLAN ID 初期値：0	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「iRMC VLAN」が「使用する」 ・0～4094
VLAN Priority 初期値：0	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「iRMC VLAN」が「使用する」 ・0～7
iRMC IPv4 LANスタック □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「iRMC LAN」が「使用する」
IPアドレス設定 ■DHCPを使う □固定アドレスを使う	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「iRMC IPv4 LANスタック」が「使用する」
IPアドレス	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「IPアドレス設定」が「固定アドレスを使う」 ・「DHCP」時は自動で取得した値が表示される ※注3
サブネットマスク	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「IPアドレス設定」が「固定アドレスを使う」 ・「DHCP」時は自動で取得した値が表示される ※注3
ゲートウェイアドレス	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「IPアドレス設定」が「固定アドレスを使う」 ・「DHCP」時は自動で取得した値が表示される ※注3

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
iRMC IPv6 LANスタック □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「iRMC LAN」が「使用する」 ※注1
Link Local Address	下記の項目が次のように設定されているときに表示 ♦「iRMC IPv6 LANスタック」が「使用する」 ※注1
コンソールリダイレクション	
コンソールリダイレクション ■使用しない □Serial 1	<ul style="list-style-type: none"> ・iRMCに対するコンソールリダイレクションに関する設定 ・iRMCのコンソールリダイレクション機能は未サポート
Baud Rate ■9600 □19.2k □38.4k □57.6k □115.2k	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「Serial 1」
Protocol □VT100 □PC ANSI ■VT100+ □VT-UTF8	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「Serial 1」
Flow Control ■None □CTS/RTS	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「コンソールリダイレクション」が「Serial 1」

注1：本設定は初期値のまま変更せずに使いください。

注2：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。
ただし、「電源ON」設定時に、本ワークステーションの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本ワークステーションの電源が投入されることがあります。

注3：iRMCの「イーサネット設定」での設定と連動しています。後から設定を変更した値が有効となります。

設定については、『iRMC（リモートマネージメントコントローラ）』の「イーサネット設定（IPアドレスの設定）」をご覧ください。

起動メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動設定	
起動時のNumLock設定 ■On □Off	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
起動時のロゴ表示 □使用しない ■使用する	
ハードウェアの状態表示 □使用しない ■使用する	
起動エラー時の動作 □起動を続ける ■キー押下まで待つ	
ネットワークサーバからの起動リトライ ■使用しない □使用する	
起動メニュー □使用しない ■使用する	
リムーバブルメディアからの起動 □使用しない ■使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	OSを読み込むデバイスの優先順位を設定※注 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「起動デバイスを変更する」を参照
Boot Option #n	nは起動の順位を示す。 <ul style="list-style-type: none">・ Windows 10の場合、ご購入時は次のように設定 #1: Windows Boot Manager #2: UEFI: [CD/DVD デバイス名] #3: UEFI: IPv4 [LAN デバイス名] #4: UEFI: IPv6 [LAN デバイス名]・ Windows 7の場合、ご購入時は次のように設定 #1: [HDD デバイス名] #2: [CD/DVD ドライブ名] #3: [LAN デバイス名]・ カスタムメイドオプションおよびお使いの状況により、起動順位は異なる・ 「CD/DVD ドライブ」は CD/DVD デバイスが接続されている場合に表示・ 「UEFI: [CD/DVD デバイス名]」は、UEFI 起動可能なディスクをセットしている場合に表示・ UEFI 起動デバイスから起動する場合は、BIOS 起動デバイスより上位に設定すること・ 起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加される・ UEFI アプリケーションが、優先順位を変更することがある

注：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存せずに終了する（再起動）	
保存設定	
変更を保存する	
変更を保存しない	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語 (Language) ・システム日付 ・システム時刻 ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・起動デバイスの優先順位 ・「IPM管理」メニュー配下の項目 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」—「ご購入時の設定に戻す」を参照
ユーザー設定値を保存する	
ユーザー設定値を読み込む	
強制起動	
起動デバイス名	